



リリースノート

SAP Control Center 3.3

ドキュメント ID：DC01764-01-0330-01

改訂：2014年3月

Copyright©2014 by SAP AG or an SAP affiliate company. All rights reserved.

このマニュアルの内容を SAP AG の明示的許可を得ずに、いかなる手段によっても、複製、転載することを禁じます。ここに記載された情報は事前の通知なしに変更されることがあります。

SAP AG およびディストリビュータが販売しているソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダー独自のソフトウェアコンポーネントが含まれているものがあります。国内製品の仕様は変わることがあります。

これらの資料は SAP AG および関連会社 (SAP グループ) が情報のみを目的として提供するものであり、いかなる種類の表明または保証も行わないものではなく、SAP グループはこの資料に関する誤りまたは脱落について責任を負わないものとします。SAP グループの製品およびサービスに関する保証は、かかる製品およびサービスに付属している明確な保証文書がある場合、そこで明記されている保証に限定されます。ここに記載されているいかなる内容も、追加保証を構成するものとして解釈されるものではありません。

ここに記載された SAP および他の SAP 製品とサービス、ならびに対応するロゴは、ドイツおよび他の国における SAP AG の商標または登録商標です。その他の商標に関する情報および通知については、<http://www.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx#trademark> を参照してください。

目次

製品の概要	1
インストールとアップグレード	1
SAP Control Center のインストールと実装	1
インストーラの選択	2
サポートされているサーバのバージョン	3
サポートされている製品モジュールとリリースド キュメント	4
既知の問題	5
インストール、アップグレードと配備に関する既知 の問題	5
SAP Control Center の既知の問題	6
SAP® Adaptive Server® Enterprise の既知の問題	8
Data Assurance の既知の問題	10
Replication に関する既知の問題	12
SAP Sybase Event Stream Processor の既知の問題	16
SAP Sybase IQ の既知の問題	17
アクセシビリティに関する既知の問題	22
マニュアルの変更	24
ヘルプと追加情報の取得	26
サポートセンタ	26
製品更新版のダウンロード	27
SAP Control Center のアクセシビリティに関する情 報	27

目次

製品の概要

このリリースノートでは、SAP® Control Center (SCC) に関する最新情報を提供します。最新バージョンは Web で入手できます。

SAP Control Center 3.3 は、SAP データベース製品に対するモニタリング機能と管理機能を提供します。

SCC 3.3 では、製品名は SAP Control Center に変わりました。SCC 3.3 は、旧製品モジュール (Sybase® Control Center 3.2.x またはそれ以前) をサポートします。

一部 SCC 製品モジュールの SCC 3.3 バージョンはまだリリースされていないので、バージョン 3.3 の全製品モジュールが利用可能になるまで、3.3 以前の製品モジュールやマニュアル内では、旧製品名である Sybase Control Center を参照してください。

サポートされるオペレーティングシステムの詳細については、『SAP Control Center インストールガイド』を参照してください。

このバージョンの新しい機能の詳細については、各 SCC 製品モジュールのオンラインヘルプの新しい機能に関するトピックを参照してください。

アクセシビリティに対する取り組みについては、このリリースノートの「SAP Control Center のアクセシビリティに関する情報 (27 ページ)」を参照してください。

インストールとアップグレード

インストールとアップグレードに関する『インストールガイド』への追加および訂正、または重要事項の最新情報を示します。

SAP Control Center のインストールの詳細については、『SAP Control Center インストールガイド』を参照してください。

SAP Control Center のインストールと実装

設定と使用方法のガイドラインが守られていない場合、パフォーマンスに影響が出ることがあります。たとえば、UI エラーが表示されたり、収集が失敗したりすることがあります。

インストール：

インストールとアップグレード

適切なパフォーマンスを得るためには、SAP Control Center サーバマシンには少なくとも 2 個の 2.4GHz プロセッサと 4GB RAM が必要です。

実装:

- リソース - 単一の SCC サーバでモニタするリソースは、250 以下にします。より多くのリソースをモニタするには、複数の SCC サーバ間でリソースを分散し、各 SCC サーバを別々のマシン上で実行します。
- 収集ジョブ - 管理される各リソースの収集タイプごとに 1 つの収集のみを設定します。製品モジュールのオンラインヘルプで **Configure > Setting Up Statistics Collection** を参照してください。

注意: 収集ジョブの一部は、リソースの認証時にデフォルトで作成されます。オンラインヘルプで以下を参照してください。

- SAP Control Center for SAP[®] Adaptive Server[®] Enterprise > Configure > Setting Up Statistics Collection > SAP[®] ASE Data Collections
 - [SAP Control Center for Replication] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Replication Data Collections]
 - [SAP Control Center for Data Assurance] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Data Collections for Replication Server Data Assurance Option]
 - [Sybase Control Center for SAP[®] Sybase Event Stream Processor] > [Configure Sybase Control Center] > [Setting Up Statistics Collection] > [Event Stream Processor Data Collections]
 - [SAP Control Center for SAP[®] Sybase IQ] > [Configure SAP Control Center] > [Setting Up Statistics Collection] > [SAP Sybase IQ Data Collections]
-
- ユーザ - SCC に同時にログインできるユーザは 10 人です。
 - リポジトリ - 定期バックアップの中にページを組み込んでいない限り、ページをオフにしないでください。デフォルトでは、ページはオンになっており、毎日実行されるように設定されています。オンラインヘルプで、リポジトリの定期バックアップと、リポジトリのページ設定に関するトピックを参照してください。

インストーラの選択

SAP Control Center で使用するインストーラは、管理対象製品によって異なります。

SCC をインストールする管理対象製品	使用するインストーラ
SAP Adapter Server Enterprise	SAP ASE
SAP Sybase Event Stream Processor	SAP Sybase Event Stream Processor

SCC をインストールする管理対象製品	使用するインストーラ
SAP Sybase IQ	SAP Sybase IQ
Replication 製品 (SAP Replication Server、 Replication Agent、 Mirror Replication Agent、 Data Assurance)	SAP Control Center

インストーラは SCC サーバ (管理ユーザインタフェースとも呼ばれます) または SCC リモートコマンドおよびコントロールエージェントのいずれかをインストールできます。目的の SCC コンポーネントをインストールするには、カスタムインストールを選んでインストールオプションを手動で選択する必要があります。

専用 SCC インストーラを使用しない場合でも、SCC 開発の計画、SCC のアップグレード、SCC 関連インストールオプションなどの重要な情報が含まれているため、『SAP Control Center インストールガイド』には目を通しておくことをおすすめします。

サポートされているサーバのバージョン

SAP Control Center による管理とモニタリングをサポートするサーババージョン。

マネージドサーバまたはエージェント	バージョン
SAP Adaptive Server Enterprise	ノンクラスタードの SAP ASE、モニタリングと管理: 15.0.2 以降 SAP Control Center for Replication の RepAgent スレッドのみをモニタするノンクラスタードの Adaptive Server: 12.5.4 以降 SAP ASE Cluster Edition、モニタリングと管理: 15.0.3 ~ 16.0
Data Assurance	15.7.1 以降
Replication 製品	SAP Replication Server [®] : 12.6 以降 Replication Agent: 15.0 以降 Mirror Replication Agent: 15.0 以降
SAP Sybase Event Stream Processor	5.1 以降

マネージドサーバまたはエージェント	バージョン
SAP Sybase IQ	モニタリング: 15.3 以降 管理: 15.3 以降

サポートされている製品モジュールとリリースドキュメント

SAP Control Center のこのリリースの製品モジュールとリリースドキュメントバージョン

使用している SCC 製品モジュールが最新バージョンかどうかを確認するには、製品モジュールリストを参照してください。Web から新規または更新製品モジュールプラグインをダウンロードできます。

Sybase とのサポート契約期限がまだある場合は、downloads.sybase.com にアクセスしてください。

SAP とのサポート契約がある場合:

1. SAP Software Download Center (service.sap.com/swdc) にアクセスします。
2. SAP Download Manager をダウンロードします。
3. Download Center に戻って、[Installations and Upgrades] を選択します。
4. A ~ Z のインデックスから、SCC で管理する製品を見つけて、これをクリックします。(SCC は管理対象製品インストーラに含まれています。)
5. 管理対象製品のインストーラをダウンロードして、これを使って SCC をインストールします。

注意: リストに最新の SCC 製品モジュールが表示されます。SCC 3.3 は、SCC 製品モジュールのバージョン 3.3 またはそれ以前をサポートします。

SAP Control Center によりサポートされている製品モジュール 3.3
SAP Control Center 3.3 for Replication
SAP Control Center 3.3 for Data Assurance
SAP Control Center 3.3 for SAP Adaptive Server Enterprise
SAP Control Center 3.3 for SAP Sybase IQ
Sybase Control Center 3.2.7 SP03 for SAP Sybase Event Stream Processor

このリストを使用して、正しいリリースノートとインストールガイドを確認してください。(help.sap.com) では省略されています。

SAP Control Center のリリースドキュメント 3.3

『リリースノート』: SAP Control Center 3.3 (本ドキュメント)

『インストールガイド』: SAP Control Center 3.3

注意: 管理対象製品のインストールインストラクションとともに『SCC インストールガイド』を使用してください。**注意:** Web サイト上のドキュメントは予告なく改訂される場合があります。更新を定期的にチェックすることをおすすめします。

既知の問題

SAP Control Center の既知の問題と対処方法について説明します。

インストール、アップグレードと配備に関する既知の問題

SAP Control Center のインストール、アップグレード、および配備に関する既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
711014	<p>SCC に付属する PAM (Pluggable Authentication Module) 設定ファイル (sybase-csi) は、Linux RedHat 6.0 をサポートしていない。</p> <p>対処方法: 次のものを格納する sybase-csi ファイルを作成する。</p> <pre>auth include system-auth account include system-auth password include system-auth session include system-auth</pre> <p>sybase-csi ファイルの詳細については、SCC オンラインヘルプの Get Started > Setting Up Security > Configuring a Pluggable Authentication Module (PAM) for UNIX を参照。</p>

SAP Control Center の既知の問題

すべての製品モジュールに存在する SAP Control Center コア機能の既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
735382 735386	<p>オペレーティングシステムの問題により Linux の一部のバージョンで SCC が起動しない。</p> <p>SQL Anywhere scc_repository データベースが起動できないというエラーが報告されている。関連 SQL Anywhere CR: 734192、728597</p> <p>OS の問題は、Red Hat Enterprise Linux 6、および 2.6.38 より大きいバージョンのカーネルを持つその他の Linux ディストリビューションのトランスペアレントヒュージページのバグである可能性がある。Red Hat の追跡番号は 891857。</p> <p>対処方法: SCC が Linux、特に RHEL 6 以降を実行するホスト上で起動に失敗し、scc_repository データベースについてのエラーメッセージが表示された場合、環境変数 SA_DISABLE_DIRECTIO を 1 に設定して、SCC をもう一度起動する。</p>
721981	<p>64 ビット版 Internet Explorer 8 または 9 を使用して SCC オンラインヘルプを表示すると、グラフィックをロードできない。</p> <p>ロードに失敗したグラフィックは、赤の X 印で示されます。この問題は、オンラインヘルプを最初に開いたときのランディングページで顕著に発生する。</p> <p>対処方法: IE の旧バージョンである 32 ビット版か別のブラウザを使用する。</p>
721119	<p>UNIX 上でスクリプトの実行が期待どおりに記録されない。</p> <p>アラートトリガのスクリプト実行は期待どおりに、SCC-3_2¥log¥alert-server.log または SCC-3_3¥log¥alert-server.log に記録されない。RemoteShell Service の ProcessRunner からの実行に関する情報は SCC-3_2¥log¥agent.log または SCC-3_3¥log¥agent.log に記録されるが、アラートスクリプト実行コードは、alert-server.log に期待どおりに記録されない。</p> <p>対処方法: なし。</p>

変更要求番号	説明
697145	<p>SCC リポジトリのインクリメンタルバックアップを使用してデータベースをリカバリできない。</p> <p>対処方法:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SCC を停止する。 2. テキストエディタでこのファイルを開く。 SCC 3.2.x: SCC-3_2/services/ScsSADataserver/service-config.xml SCC 3.3: SCC-3_3 /services/ScsSADataserver/service-config.xml 3. 次の行を削除する。 <pre><set-property property="com.sybase.asa.database.options" value="-m" /></pre> 4. 変更を保存して SCC を起動する。 <p>この変更後に実行されたインクリメンタルバックアップを使用すると、レポジトリデータベースをリストアできる。</p>
587717	<p>図表の配置に関係なく、モニタリングビューおよび統計の図表に表示されるデータチップがブラウザ画面の固定位置に表示される。画面上で図表を移動しても、データチップは連動しない。</p> <p>(データヒントとは、グラフまたはチャート上の特定のスポットのデータ値を表示するツールチップで、そのスポット上にカーソルを置くと表示される。) データヒントは、すべての製品モジュールプラグインで表示される。</p> <p>対処方法: なし。これは、Adobe Flex SDK の問題。</p>
576129	<p>F5 キーを押してブラウザをリフレッシュすると、SCC からログアウトされる。</p> <p>ブラウザのリフレッシュでは、SCC 内のデータはリフレッシュされないが、ブラウザでロードされたアプリケーションまたはページはリフレッシュされる。この場合は、SCC が構築されている Adobe Flash。したがって、F5 キーを押すと現在ログインしている SCC などのサーバからログアウトされることになる。</p> <p>対処方法: SCC にログインしている場合は、F5 キーを使用しない。</p>

変更要求番号	説明
560601	<p>IPv6 フォーマットを使用している場合、SCC HTTP のリダイレクトに失敗するため、ログインできない。</p> <p>SCC に IPv6 HTTP URL を使用している場合は、通常、HTTPS にリダイレクトしない。たとえば、この URL は使用できない。</p> <pre>http://myscc64.v6:8282/scc</pre> <p>対処方法: HTTPS フォーマットおよびポートが指定された URL を使用し、IPv6 ネットワークで SCC に接続する。次に例を示す。</p> <pre>https://myscc64.v6:8283/scc</pre>

SAP® Adaptive Server® Enterprise の既知の問題

SAP Control Center for SAP® ASE の既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
756290	<p>データベースとセグメントの一覧を表示したとき、読み込み専用データベースが表示されない。これは、認証ユーザが <code>mon_role</code> を持つデータベースユーザであっても発生します。</p> <p>対処方法: SAP ASE サーバを再認証して、アラートツリーと SAP ASE オブジェクトを同期化してください。</p>
695138	<p>SAP Control Center で、古いバージョンの Unified Agent のデフォルトパスワードを使用すると、version 15.5.x とともにインストールされた Unified Agent (Unified Agent 2.5) で認証されない。</p> <p>表示されるエラーメッセージ：</p> <pre>User 'uafadmin' failed to authenticate with server 'ASE155x' agent. Login failed: No successful loginmodules. Please check credentials.</pre> <p>対処方法: Unified Agent の認証には、新しいデフォルトのパスワードである Sybase4me を使用します。デフォルトのパスワードは直ちに変更することをおすすめします。</p>

変更要求番号	説明
690795	<p>カーネルモードを変更し、SAP ASE を再起動した後、SAP Control Center のモニタビューが正常に更新されない場合や、カーネルが変更されたことが正常に表示されない場合がある。</p> <p>SAP Control Center の [Configuration] 画面でカーネルモードをスレッドモードとプロセスモードの間で変更し、サーバを再起動しても、モニタビューが正常に更新されない場合や、プロセスモードに変更した後もスレッドが表示されたままになる場合があります。</p> <p>対処方法: ASE 15.7 以降でサーバカーネルモードを変更したときは、このリソースがモニタビューに正常に表示されるようにするため、次の手順の実行が必要な場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モニタダイアログビューを閉じます。 2. Adaptive Server を再起動します。 3. サーバをクリアして再認証します。 4. モニタビューを開いてリソースを表示します。
618901	<p>ASE 15.5 またはそれ以前の Unified Agent の認証が Windows で失敗する。</p> <p>Adaptive Server を管理している Unified Agent を使用して SAP Control Center を認証しようとする、次のすべての条件が当てはまる場合、失敗します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バージョンが 15.5 またはそれ以前。 • SAP ASE が Windows 32 ビット版または 64 ビット版プラットフォームで実行されている。 • Unified Agent が NT ログインモジュールを使用するよう設定されている。 • Windows のログインおよびパスワードを使用して認証しようとした。 <p>対処方法: ASE 15.5 ESD #1 以降にアップグレードします。</p> <p>15.5 では、Unified Agent の簡易ログインモジュールを使用して、Unified Agent のインストールごとにログインおよびパスワードのローカルリストを維持します。簡易ログインモジュールを使用する場合は、Unified Agent のインストールの一部である passencrypt ユーティリティを使用して、パスワード値を暗号化する必要があります。</p>
616855	<p>中国語の文字セットを使用するように設定されている SAP ASE サーバのデバイスの割り付け情報が英語ではなく中国語で表示される。</p> <p>割り付け情報を表示するには、Adaptive Server Enterprise Monitor でデータベースを選択し、[Devices Used] タブをクリックする。</p> <p>対処方法: なし。</p>

既知の問題

変更要求番号	説明
613300	<p>管理されている SAP ASE リソースが使用できない場合、SAP Control Center コンソールにエラーが報告される。</p> <p>対処方法: 継続的なエラーメッセージを回避するには、次の手順に従う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Perspective Resources] ビューで、サーバリソースを選択し、右側に表示されるドロップダウン矢印をクリックする。 2. [Properties] を選択する。 3. [Collection Jobs] を選択する。 4. リストされているすべてのジョブを選択する。 5. [Suspend] をクリックして、サーバリソースのすべての収集をサスペンドする。 6. サーバリソースが使用可能になったときに収集を開始するには、[Resume] をクリックする。
596022	<p>フェールオーバーオペレーションがクラスタで発生しているときに、クラスタの Adaptive Server Enterprise Monitor の画面が応答しない場合がある。</p> <p>対処方法: なし。</p>
589902	<p>一部の状況で、SAP Control Center で、クラスタ設定のセグメントによって使用されている領域のサイズと量の値が正しく表示されないことがある。</p> <p>これは Adaptive Server Enterprise Monitor の [Segments] 画面の [Details] タブに表示されるデータと図表に影響を与える。</p> <p>対処方法: なし。</p>

Data Assurance の既知の問題

SAP Control Center for Data Assurance の既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
732265	<p>[Resource] ビューに DA サーババージョン情報が表示されないことがある。</p> <p>DA サーバのバージョンは、初期登録時にのみ正確にロードされる。したがって、ここでクレデンシャルが入力されなかったり、正しくない情報が入力された場合、SAP Control Center for Data Assurance はサーバのバージョン情報を取得できない。</p> <p>対処方法: DA サーバをいったん登録解除してから、有効なクレデンシャルを使用して登録し直す。</p>

変更要求番号	説明
727867	<p>SAP Control Center for Data Assurance のデータベース接続インポート機能に、データベース名を指定するオプションがない。</p> <p>Administration Console の [Data Assurance Servers] > [Database Connection] > [Import Connection] で接続をインポートすると、接続は正しく作成されるが、接続に対して指定されているデータベース名が interfaces ファイル内の SAP ASE 名になっている。SAP ASE には複数のデータベースの概要が含まれているため、この名前は希望するデータベース名でない可能性がある。</p> <p>対処方法: [Import Connection] を使用して接続を作成した後、接続のプロパティを編集して、希望するデータベース名を指定する。接続プロパティを編集するには、次のようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Perspective Resources] ビューで DA サーバを選択する。 2. [Resource] > [Administration Console] を選択する。 3. [Data Assurance Server] を展開し、[Database Connections] を選択する。 4. インポートにより作成されたデータベース接続を選択する。 5. データベース接続を選択した際に表示されるボタンをクリックし、[Properties] を選択する。 6. データベース接続プロパティウィンドウで、[Database] フィールドに希望するデータベース名を指定する。
727771	<p>[Properties] ウィンドウでの選択時に、エージェント接続テストに失敗する。</p> <p>[Create Agent Connection] ウィザードで必要な情報を指定してから [Test] をクリックすると、接続テストは成功する。作成したエージェント接続のエージェント接続プロパティウィンドウで [Test] をクリックすると、接続テストに失敗する。これは、SAP Control Center for Data Assurance がエージェント接続プロパティにパスワードを保存しないためである。</p> <p>対処方法: [Test] をクリックする前に、同じエージェント接続プロパティウィンドウにパスワードを再入力する。</p> <p>その方法は、次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Perspective Resources] ビューで DA サーバを選択する。 2. [Resource] > [Administration Console] を選択する。 3. [Data Assurance Server] を展開し、[Data Assurance Agent Connections] を選択する。 4. 作成したばかりのエージェントを選択する。 5. エージェント接続を選択した際に表示されるボタンをクリックし、[Properties] を選択する。 6. エージェント接続プロパティウィンドウで、エージェントパスワードを入力してから [Test] をクリックする。

既知の問題

変更要求番号	説明
726399	<p>SAP Control Center for Data Assurance でデータベースタイプとして RSSD を選択すると、データベース接続の作成に失敗する。</p> <p>対処方法: なし。</p>
696767	<p>[Properties] ダイアログ ([Application] > [Administration] > [General Settings] > [Administration Console]) の Administration Console オプションを使用すると、データ検索のタイムアウトとローカウントのスレッシュホールドを設定できる。これらの設定が、SCC for Data Assurance に作用しない。</p> <p>対処方法: なし。</p>
670225	<p>Data Assurance または SAP Control Center で作成したオブジェクト名を変更できない。</p> <p>オブジェクトには、エージェント接続、データベース接続、compareset、およびジョブが含まれる。</p> <p>対処方法: 任意の名前を付けて新しいオブジェクトを作成し、古いオブジェクトを削除する。</p>

Replication に関する既知の問題

SAP Control Center for Replication の既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
753487	<p>SCC for Replication でモニタリングを行っている SAP Replication Agent スレッドが、同期モードを使用する SAP ASE 16.0 環境で機能しない。</p> <p>SCC RepAgent スレッドモニタは、SAP ASE Replication Agent を同期モードでモニタする場合、制御している Replication Server を表示できない。</p> <p>対処方法: なし。</p>

変更要求番号	説明
697776	<p>代替接続を使用すると、SAP Adaptive Server Enterprise RepAgent 送信者スレッドにデータが表示されない。</p> <p>対処方法: 新規 SAP ASE MDA テーブルへのクエリを実行して、新規 RepAgent 送信者の統計を取得する。新規 MDA テーブルは次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> • monRepLogActivity • monRepScanners • monRepScannersTotalTime • monRepSenders
696767	<p>[Properties] ダイアログ ([Application] > [Administration] > [General Settings] > [Administration Console]) の Administration Console オプションを使用すると、データ検索のタイムアウトとローカウントのスレッシュホールドを設定できる。これらの設定が、SAP Control Center for Replication に作用しない。</p> <p>対処方法: なし。</p>
696166	<p>[Adaptive Server Monitor Replication Agent] タブに RepAgent スレッド送信者接続名が表示されない。ただし、各 RepAgent の制御 Replication Server のリストは表示される。</p> <p>対処方法: 制御している Replication Server のそれぞれの [Replication Server Monitor Connections] タブを開く。このタブに、SAP ASE RepAgent の接続名が表示される。また、SAP Replication Server にログインして、admin who コマンドを使用しても、この情報を取得できる。</p> <p>[Replication Server Monitor Connections] タブにアクセスするには、次のようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Perspective Resources] ビューから、制御 SAP Replication Server を選択して、[Resource] > [Monitor] をクリック。 2. [Connections] をクリックする。
687149	<p>SAP Control Center for Replication に一部の SAP Replication Server 15.7.1 設定パラメータの記述がない。</p> <p>対処方法: 記述のないパラメータの詳細については、『Replication Server 15.7.1 リファレンスマニュアル』を参照。このマニュアルは、SAP ヘルプポータル (help.sap.com) で入手できる。</p>
686837	<p>[Replication Path] ダッシュボードに中間 SAP Replication Server のキューグラフがない。</p> <p>[Replication Path] ダッシュボードを開くと、SAP ASE Replication Agent は常にゼロと表示する。</p> <p>対処方法: SAP ASE を 15.0.3 以降にアップグレードする。</p>

変更要求番号	説明
619385	<p>遅延時間のモニタリング履歴の表のスタックされたカラムにギャップが表示されることがある。</p> <p>遅延時間モニタリング履歴チャートへのデータの読み込み時にアクセスできるのは、遅延時間モニタリング収集の開始時刻と終了時刻のみです。2つ以上の rs_ticket が収集されている場合、両方のチケットについて、チャート内で1つの時刻のみ、つまり1つの縦棒のみが報告されます。これが、積み上げ縦棒内で空白のように見えます。</p> <p>対処方法：なし。</p>
619382	<p>ASE 以外のレプリケートデータベースから遅延時間を取得することができない。</p> <p>SAP Control Center では、2つの異なる方法で遅延時間をモニタします。レプリケートデータベースの rs_lastcommit テーブルを読み込むか(デフォルト)、レプリケートデータベースの rs_ticket_history テーブルを読み込みます(そのように設定されている場合)。rs_ticket_history テーブルは、遅延時間のモニタリングによって使用されます。このテーブルでは、Sybase/SAP 以外のレプリケートデータベースに接続情報を設定できます。ただし、rs_lastcommit を使用するデフォルトの遅延時間のモニタリングでは使用しないため、SAP Control Center は Sybase/SAP 以外のレプリケートデータベースの rs_lastcommit テーブルにアクセスできません。したがって、遅延時間の表には、遅延時間がゼロと表示されます。また、これは [Path] ダッシュボードの遅延時間の表でも同じです。</p> <p>対処方法： Sybase/SAP 以外のレプリケートデータベースの遅延時間をモニタするには、遅延時間のモニタリングを設定して使用します。詳細については、『SCC インストールガイド』を参照してください。</p>
617051	<p>遅延時間のモニタプロセスが完了しても、ステータスが自動的に更新されない。</p> <p>遅延時間のモニタプロセスの完了後も、[Monitor]>[Paths] ビューにはそのステータスが引き続き [Running] と表示される。</p> <p>対処方法： パスのステータスをリフレッシュするには、ウィンドウ枠内で他の任意の場所をクリックして、フォーカスをパスからいったんはずしてから、パスを再度クリックします。</p>
616460	<p>トポロジビューの接続矢印が、正しく定義された接続によって異なる。</p> <p>トポロジで接続矢印が指す方向は、SAP Replication Server 接続の定義方法によって異なります。プライマリ接続の定義が、Sybase/SAP 以外のデータターゲットへの複製専用の接続に使用される場合、SAP Replication Server と Sybase/SAP 以外のデータターゲットの間の接続矢印が間違った方向を指している(ターゲットを指しているのではなく、ターゲットから指している)可能性があります。</p> <p>対処方法： Sybase/SAP 以外のレプリケートデータベースに対して SAP Replication Server 接続の定義を作成する場合、プライマリ接続の定義を作成するのに使用される with log transfer 句を省略します。</p>

変更要求番号	説明
614419	<p>1つの SAP Replication Server が停止すると、複数のエラーメッセージが表示される。</p> <p>モニタされている SAP Replication Server が停止すると、複数のエラーメッセージが SCC agent.log に記録されます。正しいエラーメッセージがモニタされているすべての SAP Replication Server によって報告されるため、エラーメッセージがその他の SAP Replication Server から送信されている可能性があります。</p> <p>対処方法: なし。</p>
611190	<p>複写モードのときに [Quick Admin] ビューで Replication Agent パラメータを設定すると、変更が正しく適用されていない場合でも [Show changes applied this session] を選択すると変更が表示される。</p> <p>対処方法: なし。</p>
611023	<p>空の値が有効である場合も、pdb_xlog_device パラメータに空の値を設定すると、Replication Agent の [Quick Admin] ビューに無効であると表示される。</p> <p>対処方法: なし。</p>
578836	<p>複写アクセスライブラリのストアードプロシージャを SAP Replication Server システムデータベース (RSSD) から削除すると、SAP Replication Server のデータ収集に失敗する。</p> <p>対処方法: SAP Replication Server を SAP Control Center からいったん登録解除して、再登録します。</p>
565911	<p>[Path] ダッシュボードを開くと、RepAgent スレッドグラフが表示されない。</p> <p>対処方法: SAP Replication Server は、大文字と小文字を区別する。SAP ASE 名、コネクション名、およびルート名は、大文字と小文字を含め、一致する必要がある。大文字と小文字が異なる場合、SAP ASE を登録解除し、大文字と小文字を正しく使用して再登録する。</p>
563885	<p>複写の登録がある SAP ASE を右クリックしても、[Launch Statistics Chart] オプションが表示されない。</p> <p>対処方法: なし。</p>

既知の問題

変更要求番号	説明
562600	<p>SAP Replication Server のデータ収集ジョブで、[Run the job:] [] [Once] オプションと [Run the job:] [] [Repetitively] オプション (または [Repeat once] オプションと [Repeat indefinitely] オプション) を使用できない。</p> <p>これらのオプションのいずれかを選択すると、ジョブは作成されるが、SCC は統計値を収集しない。SCC は、SCC コンソールとログファイルにエラーメッセージを書き込む。</p> <p>対処方法: job オプションを [Until] (または [Repeat until]) に変更して、ジョブの実行停止日を指定する。</p>
559160	<p>SAP Replication Server のパフォーマンス統計の収集は、SAP Replication Server 12.6 および 15.0 をサポートしていない。</p> <p>バージョン 12.6 および 15.0 のモニタおよびカウンタインタフェースは、SAP Replication Server 15.0.1 以降のインタフェースとは異なる。</p> <p>対処方法: なし。</p>

SAP Sybase Event Stream Processor の既知の問題

Sybase Control Center for SAP[®] Sybase Event Stream Processor の既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
714997	<p>SCC のオンラインヘルプで、ホームページの右側のウィンドウ枠の [Sybase Control Center for Event Stream Processor] リンクが機能しない。</p> <p>対処方法: 左側のウィンドウ枠の [Sybase Control Center for Event Stream Processor] リンクを使用する。</p>

SAP Sybase IQ の既知の問題

SAP Control Center for SAP Sybase IQ の既知の問題とその対処方法。

変更 要求 番号	説明
749693	<p>マルチプレックスサーバのエージェントステータスが未知になっている。</p> <p>実行中のエージェントが以前認証されている場合、[Admin Console] > [Multiplex Servers] で、マルチプレックスサーバがエージェントのステータスを「Unknown」と表示する場合があります。エージェントを再認証しても、ステータスはすぐに「Unknown」に戻る。</p> <p>対処方法: Resource Explorer でマルチプレックスリソースをいったん登録解除してから再登録。</p>
748912	<p>インストール時に TDS ポート番号を変更できない。</p> <p>TDS (Tabular Data Stream) は、SCC サーバと SCC エージェントが情報交換で使用する共通のアプリケーションプロトコル。インストール時、TDS ポート番号は 9998 に設定され、デフォルトで有効になる。現在、SAP Sybase IQ インストーラ内部に別の TDS ポート番号を選択するオプションはない。</p> <p>TDS ポートが別のアプリケーションにより使用されている場合、SCC は起動に失敗するか、正しく動作しない。</p> <p>対処方法: TDS ポートの競合を特定し、解決するには、次のようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 起動時に使用した方法に従って、SCC を停止する。たとえば、コマンドラインから起動している場合は、バックグラウンドプロセスを停止するか、<code>scc-console</code> プロンプトで「shutdown」と入力する。サービスとして SCC を実行している場合は、SAP Control Center サービスを停止する。 2. 各ポートについて使用中かどうかを示す SCC ポートリストに戻るには、次のように入力する。 Windows: <code>scc --info ports</code> UNIX: <code>scc.sh --info ports</code> SCC が実行していないときに使用中のポートは、競合する可能性の高いポート。 3. ポートの競合を特定したら、TDS ポートを、別のアプリケーションが使用していない 1025 ~ 65535 のポートに変更する。次に例を示す。 Windows: <code>scc --port tds=9997</code> UNIX: <code>scc.sh --port tds=9997</code>

変更 要求 番号	説明
747312	<ul style="list-style-type: none"> • [Alert] ウィザード - 論理サーバの新しいメンバーが表示されない。 - SCC 以外の方法 (dbisql など) で論理サーバに新しいメンバーを追加した後、その論理サーバの [Alert] ウィザードに新しいメンバーは表示されない。 • 対処方法: - 論理サーバのプロパティを [Membership] ページで開いて、SCC 外で追加したメンバーのチェックを解除し、[Apply] をクリックして、これらのメンバーをもう一度チェックし、[Apply/OK] をクリック。これで、メンバーノードが表示される。
746237	<ul style="list-style-type: none"> • [Create Dbspace] ウィザード - マルチプレックスノードのドロップダウンリストが空。 - [Perspective Resources] ビューからマルチプレックスノードを表す IQ Server を選択して、Administration Console から [Create Dbspace] ウィザードを開いた場合、[Multiplex Node] の隣のドロップダウン矢印をクリックしても空のリストしか表示されない。 • 対処方法: - [Perspective Resources] ビューから、マルチプレックスノードを表す IQ Server ではなく IQ Multiplex を選択する。Administration Console を開いて、[Create Dbspace] ウィザードを起動する。[Multiplex Node] の隣のドロップダウン矢印をクリックすると、マルチプレックスノードが表示される。
729451	<p>プロキシテーブルに対するパーミッションを付与または取り消す方法がない。</p> <p>テーブルレベルでプロキシテーブルに対するオブジェクトレベルのパーミッションを付与または取り消す機能は、現在 SCC に実装されていない。</p> <p>対処方法:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ、グループ (15.3 と 15.4) レベルまたはロール (16.0) レベルでオブジェクトレベルのパーミッションを付与する。 • テーブルレベルでオブジェクトレベルのパーミッションを付与するには、Interactive SQL を使用する。
724206	<p>ユーザの同一化機能を使用できない。</p> <p>別のユーザのロールとシステム権限を一時的に設定する (ユーザの同一化) 機能は、現在 SCC でサポートされていません。</p> <p>対処方法: Interactive SQL を使用してください。</p>

変更 要求 番号	説明
723112	<p>SUSE プラットフォームでデータベース検証を含むタスクを実行するとサーバエラーが発生する。</p> <p>次のメッセージが表示され、プロセスが失敗する。</p> <pre>SCC Agent <host_name>:9999 does not know Sybase IQ version string. Something is wrong with the IQ Agent plug-in</pre> <p>対処方法:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SAP Control Center を停止する。 2. root としてログインする。 3. In s /usr/bin/env /bin/env を実行する。 4. SAP Control Center を再起動する。 5. 元のユーザとしてログインする。 6. タスクをもう一度実行する。
716431	<p>デュアルコントロールパスワード管理を使用できない。</p> <p>ユーザログインポリシーで [Change Password Dual Control] オプションを有効にして、ユーザのパスワードを変更しようとする、エラーメッセージが表示される。デュアルコントロールパスワード管理は、現在 SCC ではサポートされていない。</p> <p>対処方法: Interactive SQL を使用して、ユーザのパスワードを変更する。</p>
696767	<p>[SCC Properties] ダイアログ ([Application] > [Administration] > [General Settings] > [Administration Console]) の Administration Console オプションを使用すると、データ検索のタイムアウトとローカウントのスレッシュホールドを設定できる。これらの設定が、SAP Control Center for SAP Sybase IQ に作用しない。</p> <p>対処方法: なし。</p>
686963	<p>[Server Properties] を使用してサーバの設定を変更し、さらに、[Request Logging] または [Options] ページも変更を加えると、サーバの設定プロセスは実行されるが、追加の変更は行われない。</p> <p>対処方法: 個別のページから [Server Properties] の変更を実行し、ページごとに[OK] をクリックします。</p>

変更 要求 番号	説明
685207	<p>[INC Properties] ダイアログで、マルチプレックスセカンダリサーバの Liveness Timeout 値が、常に 0 秒と表示される。</p> <p>値をデフォルト (120 秒) のままにしている場合や、設定エディタで値を設定して再起動した場合も、[INC Properties] ダイアログには Liveness Timeout が 0 秒と表示される。サーバ上では値は正しく、表示のみが間違っている。</p> <p>対処方法: SCC Administration Console で以下を実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 左ウィンドウ枠で、[IQ Servers] > [Multiplex Management] を展開し、[Multiplex Servers] を選択する。 2. 右ウィンドウ枠で、サーバを選択し、右側に表示されるドロップダウン矢印をクリックする。 3. [Properties] を選択する。 4. [Properties] ダイアログの左ウィンドウ枠で、[Server Properties] を選択する。 5. 右ウィンドウ枠で、[Name] カラムの上のフィルタフィールドに「liv」と入力する。これにより、Liveness Timeout 以外のすべてのプロパティがフィルタにより除外される。
676665	<p>データベースのロケーションを変更し、サーバを再起動した後で、元のロケーションに戻そうとすると、サーバが起動しなくなる。</p> <p>起動できないのは、新しいロケーションに変更したときに、古いデータベースファイルがそのまま残っているため。古いロケーションに戻すと、サーバは古いファイルを検出する。</p> <p>データベースロケーションへのパスの確認と変更を行うには、次の手順に従う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理コンソールで、[IQ Servers] を選択する。 2. 右側のウィンドウ枠でサーバを選択し、サーバ名の横に表示されるドロップダウンの矢印をクリックする。 3. [Properties] を選択する。 4. [Properties] ダイアログの左ウィンドウ枠で、[Configuration] を選択する。 <p>対処方法: 古いロケーションに戻す前に、db、iqmsg、.lmp ファイルを元のロケーションから削除する。存在する場合は、params.cfg、start_server.sh、および stop_server.sh も削除する。</p> <p>注意: .iq ファイル、.iqtmp ファイル、および .log ファイルは削除しないでください。これらのファイルを削除すると、サーバを起動できなくなります。</p>

変更 要求 番号	説明
676218	<p>Administration Console の [Dbospace Properties] ダイアログで dbospace プロパティを変更すると、[DB Files Properties] ダイアログに伝達されるはずなのに、自動的に伝達されない。</p> <p>対処方法： [Dbospace Properties] ダイアログでの変更が [DB Files Properties] ダイアログに反映されない場合は、次のようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [DB File Properties] ダイアログを閉じる。 2. 管理コンソールの左ウィンドウ枠で、[DB Files] をクリックする。 3. [Folder] メニューで、[Refresh] を選択する。 4. 右ウィンドウ枠で dbfile を選択し、ドロップダウン矢印をクリックして、[Properties] を選択する。
676079	<p>設定ファイルエディタで、[Maximum Output File Size] のデフォルトにキロバイトが使用されている。MB または GB を指定する方法がない。</p> <p>対処方法: データベースディレクトリの params.cfg ファイルで、-zs スイッチを使用して値を設定する。数値の後に K、M または G を使用する。次に例を示す。-zs 4000K、-zs 240M、または -zs 30G。</p>
676076	<p>設定ファイルエディタの [Debug] ページで、[Debug Level] ドロップダウンに、"other"、"procedures"、"triggers"、"plan"、"hostvars"、"replace"、"blocks" の各ログレベルが表示されない。</p> <p>対処方法: デバッグレベルを表示されないレベルのいずれかに設定するには、データベースディレクトリの params.cfg ファイルの -zr スイッチを設定する。複数のレベルを含めることができる。次に例を示す。-zr procedures, triggers, plans。</p>
670173	<p>[Database Options]、[Group Options]、[User Options] の各ダイアログで、Sybase Central で提供されているアクションである [Create Options]、[Remove Options]、[Mark Options as Permanent] を実行できない。</p> <p>(現在、Sybase Central は SQL Central と呼ばれている。)</p> <p>対処方法： Use Interactive SQL to configure the options.</p>
669571	<p>Administration Console の [Execute SQL] ウィンドウで、返される結果がない正常完了クエリのステータスが表示されない。</p> <p>Interactive SQL のユーザは、Execution time: 0.01 seconds のようなメッセージを想定している。</p> <p>対処方法：なし。</p>

既知の問題

変更要求番号	説明
667667	<p>SAP Control Center に登録されている SAP Sybase IQ シンプレックスサーバを SCC のこのインスタンス以外 (SCC の別のインスタンスまたはコマンドラインを含む) を使用してマルチプレックスサーバに変換すると、現在の SCC で変換が検出されず、サーバが引き続きシンプレックスとして表示される。</p> <p>対処方法: シンプレックスリソースを認証しなおして SCC にマルチプレックスとして表示されるようにする。</p>
666382	<p>特に、リソースがマルチプレックスである場合、認証に長時間を要することがある。場合によっては、[Authentication] ダイアログが終了しないことがある。</p> <p>対処方法: [OK] をクリックした後に、いつでも [Cancel] をクリックして [Authentication] ダイアログの表示を安全に消すことができる。</p>

アクセシビリティに関する既知の問題

SAP Control Center のアクセシビリティに関する既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
648803	<p>NVDA スクリーンリーダーが [Perspective Resources] ビューでローの誤ったデータを読み上げる。</p> <p>対処方法: なし。</p>
616081	<p>カスタマイズされた表示設定がインストール時に継承されない。</p> <p>次の表示のカスタマイズは、SCC のインストーラダイアログでは継承されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザが大きなフォントを選択していても、インストーラのメッセージのフォントサイズには反映されない。インストーラのメッセージのフォントサイズは同じままである。 ナレータスクリーンリーダーアプリケーションは、ウィザードページ、ヘッダ、入力された文字を読み上げるが、ウィンドウ内の情報、ライセンス契約、またはメニューは読み上げない。 ハイコントラスト設定と色設定は、インストーラのメッセージ、ヘッダ、メニュー、ボタンに反映されるが、メインウィザードのウィンドウ枠の背景色には反映されない。ウィザードのウィンドウ枠の背景色がハイコントラストモードに変更されないため、一部のメッセージが読めなくなる。 <p>対処方法: コンソールノードを使用して SCC をインストールする。</p>

変更要求番号	説明
615036	<p>[Collection Job] ウィザードで、いくつかのキーを押すと収集のテーブルから横のウィンドウ枠に外れることがある。</p> <p>収集テーブルからフォーカスを移動してしまうキーは、[Page Up]、[Page Down]、[Home]、[End] キーと矢印キーです。</p> <p>対処方法: [Tab] キーを押して、収集のテーブルにフォーカスを戻す。</p>
614800	<p>フォーカスをキーボードから右クリックコンテキストメニューに移し、Adaptive Server のビュー、画面、またはタブでパッドアプルーを拡張、サイズ変更、または追加できない。</p> <p>対処方法: マウスを使用してフォーカスを当てる。</p>
614618	<p>システムフォントまたはフォントの色を変更しても SCC が変更されない。</p> <p>対処方法: なし。これは、Adobe Flex の問題。</p>
614246	<p>SCC ウィンドウにある最小化、最大化、およびサイズ変更のコントロール上に表示されるテキストがスクリーンリーダーで読み上げられない。</p> <p>対処方法: なし。</p>
614243	<p>表の内容がスクリーンリーダーで読み上げられない。</p> <p>対処方法: 表によっては、表のデータを含んでいる [Data] タブがある。このデータをスクリーンリーダーで読み取ることはできない。</p>
614023	<p>Ctrl+ と Ctrl- でフォントサイズを変更できない。</p> <p>対処方法: Ctrl-Alt + および Ctrl-Alt - を使用して、フォントサイズを変更する。</p>
611421	<p>Adaptive Server のビューまたは画面で、キーボードまたはスクリーンリーダーを使用して最小最大のアイコンにフォーカスできない。</p> <p>対処方法: マウスを使用してフォーカスを当てる。</p>
590271	<p>インストーラ UI: キーボードを使用している場合、拡大鏡の機能がフォーカスの変更に従わない。</p> <p>Windows のスクリーン拡大鏡では、InstallAnywhere インストールウィザード内でホットキーや [Tab] キーを使用して移動しても、フォーカスが移動しない。</p> <p>対処方法: マウスを使用して拡大鏡のフォーカスを当てる。</p>
578870	<p>すべてのウィンドウをタブで移動できるが、フォーカスしたウィンドウが前面に表示されない。</p> <p>対処方法: [View] > [Select] > [<window>] を使用して、ウィンドウを前面に表示する。</p>

変更要求番号	説明
563523	<p>Firefox ブラウザを使用してログイン画面の [User Name] フィールドにタブを設定できない。</p> <p>対処方法: Internet Explorer を使用する。</p>
562210	<p>Adaptive Server クライアントの画面の特定のセクションでフォーカスできない。</p> <p>対処方法: なし。</p>

マニュアルの変更

SAP Control Center3.3 でリリースされたマニュアルの更新情報、修正内容、および変更点について説明します。

SCC for SAP Sybase IQ ヘルプ: Step Omitted for Configuring High Availability
 オンラインヘルプ: Administer and Monitor SAP Sybase IQ > Multiplex Servers > Administer Multiplex Servers > Viewing or Modifying Multiplex Server Properties

高可用性設定手順は SAP Control Center 3.3 for SAP Sybase IQ オンラインヘルプから削除されました。

高可用性オプションを有効にして設定する場合は、ステップ 4 と 5 を完了してください。それから Interactive SQL を起動して、コーディネータに接続し、次のコマンドを実行します。

```
ALTER LS POLICY root ENABLE_AUTOMATIC_FAILOVER=ON
```

SCC for SAP Sybase IQ ヘルプ: Node Fails to Restart when High Availability Is Enabled

オンラインヘルプ: Troubleshoot SAP Control Center for SAP Sybase IQ > Node Fails to Restart when High Availability Is Enabled

この新しいトラブルシューティングトピックは SAP Control Center 3.3 for SAP Sybase IQ オンラインヘルプからは削除されました。

問題: 高可用性の設定が有効になっていても、予測不能なエラーが生じるノードは自動的に再起動されない。

解決法: Interactive SQL を起動して、コーディネータに接続し、次のコマンドを実行してください。

```
ALTER LS POLICY root ENABLE_AUTOMATIC_FAILOVER=ON
```

SCC for SAP Sybase IQ ヘルプ: PAM for Red Hat Enterprise Linux 6.0 and later
 オンラインヘルプ: Get Started > Setting Up Security > Configuring a Pluggable Authentication Module (PAM) for UNIX

オンラインヘルプの Red Hat の例は正しくありません。Red Hat 6.0 以降については、/etc/pam.d ディレクトリに、以下を含む sybase-csi ファイルを作成します。

```
# sybase-csi PAM Configuration (Red Hat style)
auth        include      system-auth
account     include      system-auth
password    include      system-auth
session     include      system-auth
```

SCC for Replication ヘルプ: Authenticating a Login Account for a Managed Resource
 オンラインヘルプ: [Configure] > [Authenticating a Login Account for a Managed Resource]

SCC for Replication は [Use my current SCC login] 機能をサポートしていません。Replication Server を認証する際には、ステップ 4 で [Specify different credentials] を選択します。

SCC for DA ヘルプ: SSL Support in Replication Server Data Assurance Option
 Replication Server Data Assurance (DA) Option 15.7.1 の SSL サポート機能に関するマニュアルは、Sybase Control Center for Data Assurance オンラインヘルプに含まれていません。Sybase Control Center for Data Assurance と DA サーバ間の RMI (Remote Method Invocation) 通信は、SSL (Secure Socket Layer) / TLS (Transport Layer Security) を使用して暗号化できます。

DA における SSL サポートの詳細については、[Replication Server Data Assurance Option 15.7.1] > [Users Guide] > [Security and Access Control] を参照してください。

Administration Console の起動

Administration Console を起動するのがタスクに最適であるにもかかわらず、その起動手順が記載されていないオンラインヘルプのトピックがいくつかあります。Administration Console には、1 つのリソース、リソースのグループ、またはすべてのリソースの情報を、現在の観点で表示できます。

- Administration Console に 1 つまたは複数のリソースの情報を表示するには、[Perspective Resources] ビューでリソースを選択し、[Resource] > [Administration Console] を選択します。この方法が最も短時間で済みます。
- Administration Console にすべてのリソースの情報を現在の観点で表示するには、メインメニューバーから [View] > [Open] > [Administration Console] を選択しま

ヘルプと追加情報の取得

す。多数のリソースをモニタしている場合は、Administration Console にロードするのに数分かかります。CR #668582。

ヘルプと追加情報の取得

この製品リリースの詳細を確認するには、製品マニュアルサイトおよびオンラインヘルプを使用します。

- <http://sybooks.sybase.com/> の Product Documentation - マニュアルのオンライン版であり、標準の Web ブラウザを使用してアクセスできます。ドキュメントをオンラインで閲覧したり、PDF としてダウンロードしたりできます。Web サイトには、ホワイトペーパー、コミュニティフォーラム、メンテナンスリリース、サポートコンテンツなどのリソースへのリンクもあります。
- 製品のオンラインヘルプ (利用可能な場合)

PDF ドキュメントを参照または印刷するには Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Reader は Adobe Web サイトから無料でダウンロードできます。

注意：最新の『リリースノート』と、製品のリリース後に追加された製品およびマニュアルに関する重要な情報は、Product Documentation Web サイトで確認できます。

サポートセンタ

SAP® 製品のサポートを利用してください。

組織でこの製品の保守契約を購入している場合は、サポートセンタとの連絡担当者が指定されています。マニュアルだけでは解決できない問題があった場合には、担当の方を通してサポートセンタまでご連絡ください。

- 地域の Sybase サポートセンタまたは Sybase 子会社
- SAP サポートセンタ

SAP サポート契約を締結しているお客様は、SAP サポートサイト <http://service.sap.com/sybase/support> でこの製品のサポートを取得できます。また、ここから Sybase サポート移行の情報が探せます (ログインが必要なこともあります)。

Sybase サポート契約を締結しているお客様は、<http://www.sybase.com/support> でこの製品のサポートを取得できます (ログインが必要です)。

製品更新版のダウンロード

メンテナンスリリース、サポートパッケージ/パッチ、関連情報を入手します。

- Sybase 認定販売店から製品を直接購入した場合:
 - a) <http://www.sybase.com/support> を開きます。
 - b) [Support] > [EBFs/Maintenance] を選択します。
 - c) MySybase のユーザ名とパスワードを入力します。
 - d) (オプション) フィルタ、時間枠のいずれかまたはその両方を選択して [Go] をクリックします。
 - e) 製品を選択します。

鍵のアイコンは、認可されたサポートコンタクトとして登録されていないため、一部の EBF/Maintenance リリースをダウンロードする権限がないことを示しています。未登録ではあるが、Sybase 担当者またはサポートセンタから有効な情報を得ている場合は、[My Account] をクリックして、「Technical Support Contact」の役割を MySybase プロファイルに追加します。
 - f) EBF/Maintenance レポートを表示するには [Info] アイコンをクリックします。ソフトウェアをダウンロードするには製品の説明をクリックします。
- Sybase 製品を SAP との契約に基づいて購入した場合:
 - a) <http://service.sap.com/swdc> を開き、必要に応じてログインします。
 - b) [Search for Software Downloads] を選択し、製品名を入力します。[Search] をクリックします。

SAP Control Center のアクセシビリティに関する情報

SAP Control Center では Adobe Flex アプリケーションを使用します。

Adobe Flex のキーボードショートカットに関する最新の情報については、http://livedocs.adobe.com/flex/3/html/help.html?content=accessible_5.html を参照してください。

注意：JAWS 付き SAP Control Center (Windows 版) のスクリーン読み上げソフトウェアを効率的に使用するには、適切な Adobe スクリプトをダウンロードしてインストールします。 <http://www.adobe.com/accessibility/products/flex/jaws.html> を参照してください。

ヘルプと追加情報の取得